

「六ヶ所村ラブソディー」から3年  
新作スタート

長編ドキュメンタリー映画

鎌仲ひとみ 監督作品 制作 グループ現代

# ミツバチの 羽音と地球の回転

【仮題】

撮影進行中！ 2009年秋公開予定！

映画「ミツバチの羽音と地球の回転」

現在進行形の映画制作過程をまとめたビデオレター 3月完成！

## ぶんぶん通信 no.1

持続可能な未来を求めて

上映会開催決定！

～ 3月より 山口県祝島、東京、全国 順次公開 ～

## もうひとつの選択 立ち上がる未来のイメージ

—「ぶんぶん通信 no.1」によせて—

映画が完成する前にこれまでの取材から抽出したシーンをお届けする事にしました。新作は「持続可能性」が大きなテーマになっています。その具体的で新鮮なイメージをいかに立ち上げるか、撮影で苦心しております。取材を始めて早くも9ヶ月が経ちました。撮影を進めながら同時に学ぶという作業を積み重ねています。矛盾に満ちたしかも希望のかけらがちりばめられた現場からの報告です。「持続可能性」そのものを生きる存在、その肉体をともなった発信を捉えたいと試行錯誤している映像を今回ご覧いただけます。

鎌仲ひとみ [監督]

— 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」—

前作「六ヶ所村ラブソディー」では原子力産業の最前線で生きる六ヶ所村の人々取材しました。今、どのようなエネルギーを選択するのか、そこに私達の持続可能性がかかっています。今回、カメラをスウェーデンと日本の山口県祝島に向けています。スウェーデンでは国民投票で決めた脱原発政策が2009年、政府によって見直されようとしています。しかし、同時に2020年までに石油に依存しない社会をめざす市民のゆるぎない活動が、着実に地域を変えつつあります。一方の山口県祝島では、対岸の湾を埋め立て、新規の原子力発電所を建設する計画が進められています。1000年以上に渡り、祝島の人々が育んできた自然と共生するあり方、文化の持続性が、原発建設に伴う環境破壊の前に危機に瀕しています。日本とスウェーデン、また各地で新しいエネルギーを模索する人々や地域が存在しています。現場で矛盾と格闘しながらも、さまざまな課題を乗り越え取り組んできたその営みのなかに、あたらしい持続可能な社会の原点と未来の可能性があるのではないかと。社会をシフトする人間のエネルギーやネットワークが生み出されようとしているその瞬間を記録し、発信するドキュメンタリー＝新しいメディアの形を目指しています。

### 「ぶんぶん通信」とは？

「ミツバチの羽音と地球の回転」の制作途中の報告を兼ねたビデオレターです。山口県祝島での撮影を中心に新作で描こうとしている今まさに起きている現実をなるべくリアルタイムで報告します。

購入して下さったDVDをもとに、地域で自主上映会を開くことが出来ます。(詳しくはHPより)

ミツバチ  
サポーター  
募集中！



ご支援いただきありがとうございます！引き続き映画制作のためのカンパを呼びかけています。(詳しくはHPより)みなさまの応援とご支援をお願い申し上げます。

<http://888earth.net/>



# 持続可能性を支える人々、 そして私たちの意志



## & ぶんぶん通信 no.1

トークセッション+上映会

【ゲスト】

**小澤徳太郎**

元スウェーデン大使館  
環境保護オブザーバー

現在、環境問題スペシャリストとして  
執筆、講演活動中

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~backcast/>

**鎌仲ひとみ**

「ミツバチの羽音と地球の回転」

「ぶんぶん通信 no.1」監督

東京工科大学 准教授

【司会】

**林香里**

東京大学情報学環 准教授

【日時】

# 2009/3/15 (日)

【会場】

## 東京大学 情報学環 福武ホール 福武ラーニングシアター (定員 180名)

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 情報学環 福武ホール受付 03-5841-0328

【タイムスケジュール】

▼12:00 開場 / 13:00

「ぶんぶん通信 no.1」

1 回目の上映

▼14:10 - 15:30

トークセッション

「持続可能性を支える人々、  
そして私たちの意志」

▼16:00

「ぶんぶん通信 no.1」

2 回目の上映

(上映後、監督より作品解説あり)

▼17:30 - 18:30

交流会

▼19:00

終了

上映会では、持続可能性をテーマにした  
今秋公開予定の長編ドキュメンタリー  
映画「ミツバチの羽音と地球の回転」[仮題]  
の制作過程から生まれたビデオレター  
「ぶんぶん通信 no.1」をご覧ください。

トークセッションでは、鎌仲ひとみ監督  
を交え、ゲストに小澤徳太郎氏をお招きし、  
東京大学情報学環の林香里先生  
による司会進行で、熱いセッションを  
行います。

【資料代】 1000 円

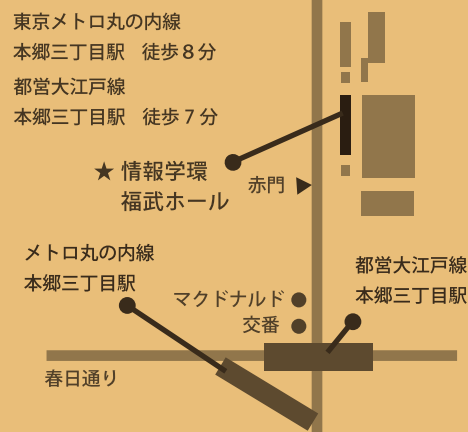
【交流会】 500 円

2 回目の上映後、ゲストを交え、同会場内  
にて交流会を開催します。会場ではフェア  
トレードコーヒーや祝島のびわ茶、オーガニック  
スイーツなどの軽食を用意しています。

＜トークセッションのテーマ(予定)＞

- 「祝島の人々が育んできた自然と共生するあり方、1000年続いてきた暮らしと文化」
- 「祝島から考える持続可能な暮らしと未来」
- 「スウェーデンを変えた政策とは？」
- 「日本とスウェーデンの最も大きな違いはどこにあるのか？」
- 「緑の福祉国家と経済成長をめざし続ける国家」
- 「エネルギーリテラシー」

【会場へのアクセス】



※ 駐車スペースの用意がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

【主催・お問い合わせ】

「ミツバチ」制作プロジェクト

グループ現代：担当：巖本、藤井

tel：03-3341-2863

e-mail：888earth@g-gendai.co.jp

<http://888earth.net/>